



平成30年7月30日発行 第8号

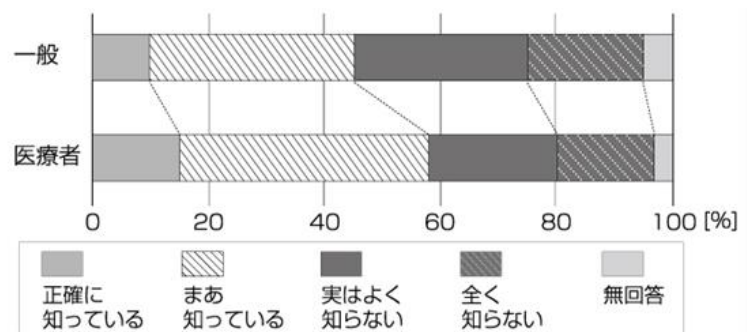
■発行元
緩和ケアセンター
■発行責任者
院長 藤野 安弘
■連絡先
青森県立中央病院
緩和ケアセンター
☎017-726-8111
内線 8568

もしものための話し合いのススメ

「終活」という言葉をよく耳にするようになりましたが、実際に考えたことがありますか？

もしものための話し合いは、自分の人生をどう締めくくするか、その心づもりをご家族や親しい人と話していくことを意味しています。

あなたが終末期医療の希望を明示できなくなった時、決めて欲しいと決めた人は、あなたの終末期医療の希望についてどの程度知っていると思いますか（％）



平成20年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業 地域における終末期ケアの意向と実態に関する調査研究（主任研究者：池上直己）報告書より

自分にはまだ関係ない、できれば先延ばしにしたい、と思うことかもしれません。でも、実際にそのときが来たら、考えられない、考えたくない、話し合えない・・・そういうことは少なくありません。

この話し合いは一度で終わりとはせず、折に触れて継続して話し合っていくことをおすすめします。

「もしものための話し合い」についてのご相談は、
緩和ケアセンターまでどうぞ。（TEL 017-726-8111 内線 8568）

当院は患者さんをご家族の声に耳を傾け、患者さんをご家族の苦痛の緩和・治療に真摯に取り組んでまいります。

緩和ケアチーム専従看護師・がん看護専門看護師 柳本 千景